
高見神社のデジタル革新で地域貢献へ AI スマートアバター®で、神社の歴史や文化を多言語で伝える

高見神社（北九州市八幡東区高見 1-1-1）は、北九州発のデジタル技術を活用して、神職や巫女の装束を着たキャラクターが多言語によって神社の歴史や行事などを紹介する番組を facebook や instagram など SNS で発信する取り組みを始めました。

発信しているのは、高見神社の神様や歴史、「初宮詣」「夏越大祓大祭」など行事、神社のお守りについてで、神職と巫女の装束の2人のキャラクターが日本語と英語で説明しています。今後は、地元・北九州の歴史・文化や観光地、みやげ物などの紹介などにも広げていくことも検討しています。



神社によるこうした発信は珍しく、情報を国籍や世代を問わずにデジタル配信することは、地域の活性化につながり、インバウンドの増加にも対応できると期待しています。

技術面では、世界 31 カ国語に対応したキャラクターが、テキスト情報を入力しただけで表情や仕草なども交えて全自動で発信する北九州発の技術「スマートアバター®」を活用しています。この技術は、北九州空港内で航空機の遅延情報などを配信する「北九州空港案内チャンネル」などで採用されています。「スマートアバター®」が広がれば、神社や空港、観光地などを行き来できるメタバースに発展させることも可能となります。

高見神社は、洞海湾の産土神（うぶすなのかみ）とされ、製鉄所の操業開始以降「ものづくりの精神」を伝える日本近代化産業の守護神として親しまれてきました。これからもさまざまな面から地域に貢献してまいりたいと考えています。

【本件のお問い合わせ】

高見神社 禰宜 波多野光隆

〒805-0016 北九州市八幡東区高見 1-1-1 電話：093-651-5108

【「スマートアバター®」のお問い合わせ】

有限会社 BOND 代表取締役 古川ひろ美

〒803-0801 北九州市小倉北区西港町 122-10 電話：093-561-5521